

特集

自由な発想で助産ケアを発信しよう

社会に広がる 助産師の活動

現在、日本の約99%のお産が病院で行なわれており、施設で提供されるケアは母子にとって軸であり、基本です。そして、退院してから母子が暮らすのは地域ですが、すぐに、容易に助産師にアクセスできない母子が多いのが現状です。だからといって、地域で働く助産師が増えるのが理想かといえば、それもまた簡単にはいかないようです。

そこで本特集では、病院勤務か、地域に出るか……と、場に縛られることなく、自由な発想で広く社会に情報発信をし、母子と家族の支援を行なっている方々の、助産や医療の視点だけに留まらない活動をご紹介します。病院と、地域や社会がゆるやかに連携し循環することを願っています。